

連載 ギラヴァンツは北九州に何をもたらすのか—第7回— 集客の危機をバネに、地域社会の活性化へ

北九州市立大学都市政策研究所准教授 南 博

1. 「一新」ギラヴァンツの2013年シーズン開幕

2012年シーズンから残った選手は7人のみ。新たな選手20人が加わり、監督・コーチ陣が全員交代したギラヴァンツ北九州。2013年のクラブスローガンを「一新」とした理由について、横手敏夫社長は「今年の干支である“巳”には、新たな出発という意味があります。今年は柱谷監督のもと、チームを『一新』し、J2の頂点に向かって再出発致します」^(注1)と述べている。3月3日に開幕したJ2の2013年シーズンにおけるギラヴァンツは、本原稿執筆時点（2013年3月17日時点）では、3試合を終えて1勝1敗1分。柱谷幸一監督は「5年後に向けてチームづくりをしていく」と就任会見で述べているように、中期的視点から若い選手らを育てていくことを意識している。今後のギラヴァンツの活躍が楽しみだ。

特に活躍が目立つのは、九州共立大学から新卒で加入したフォワード・柿本健太選手だろう。北九州市出身で、少年サッカー、高校、大学とも北九州市内で活動し、そして北九州でプロ入りした選手だ。3月3日の本拠地・北九州市立本城陸上競技場（以下、「本城」という）での開幕戦では、後半途中から出場し、その直後、公式戦で初めて蹴ったボールでゴールを決め、本城に集まった観戦者を大いに盛り上げた。同じく北九州市出身の池元友樹選手とともに、これからのギラヴァンツを引っ張っていく選手となってもらいたいものだ。

また、開幕に先立つ2月17日には、プレシーズンマッチとして、韓国Kリーグの仁川ユナイテッドFCを本城に招いて試合を行った。仁川ユナイテッドFCは、元韓国代表のキム・ナミル選手、ソル・ギヒョン選手などの著名選手を擁する強豪で、ギラヴァンツにとっては初の国際親善試合となった。北九州市制50周年／北九州市・仁川広域市姉妹都市提携25周年記念試合として北九州市の支援を受けて開催され、仁川ユナイテッドFCは試合前の約1週間、北九州市内でキャンプも行った。北九州市と仁川広域市、また東アジア諸都市との友好の輪の一層の拡がりにギラヴァンツが一役買う事ができる可能性を示した、非常に有意義な試合だった。

2. 集客の課題

一方、開幕直後、改めて大きな課題を突き付けられたシーズンにもなった。3月3日の本城での開幕戦（vs カターレ富山）の入場者数は2,506人。同日に開催されたJ2の平均入場者数が8,818人であった中、飛び抜けて少ない人数だった。

ギラヴァンツの開幕戦の入場者数は、Jリーグに加盟した2010年は4,304人。そこから2011年3,359人、2012年3,160人と減少し、2013年は2,506人。開幕戦は、そのシーズンのクラブ

への関心の高さが顕在化すると考えられるため、非常に残念な結果であったといえよう。私は毎年、開幕戦をスタンドで観戦しているが、これまで2011、2012年の人数減少は、降雨と寒さが大きく影響したと考えていた。しかし、好天で体感気温もさほど低くなかった今年の開幕戦は、それを下回る入場者数となった。これは私のみならず、関係者にとって大きなショックであったであろう。3月8日の西日本スポーツ紙には、「『努力足りない』もっと観客増やせ！チェアマン 北九州に異例の活」という記事も掲載され、Jリーグの大東和美チェアマンがギラヴァンツに直接電話で苦言を呈したと報じられた。ギラヴァンツを応援している者として非常に残念だが、チェアマンの指摘はもっともだといわざるをえない。「ギラヴァンツの試合を観戦したい」、あるいは「(サッカー観戦はともかく)何か面白そうなので、試合会場に行ってみたい」と感じる人をいかに増やしていくか。これまでも、クラブ、行政、地域団体などが様々な取り組みを行ってきているのだが、改めて大きな課題に直面したといえよう。

3. 地域社会の活性化につながる、地道な集客促進活動への期待

個人的な意見としては、入場者を増やしていくことに即効性を求める事は難しく、地道な集客促進活動を積み重ねることによって、着実に増加を図っていくしかないと考えている。しかし、入場者数の増減はクラブの収益に直結し、スポンサーの獲得にも影響を与える。ギラヴァンツの横手社長は「2017年のJ1昇格を目指す」と話しており、入場者数増および経営基盤強化は、クラブとして喫緊の課題といえよう。地道に、かつ急ぐことが必要な状況に置かれている。こうした中、昨年末から今季序盤にかけ、いくつかの特筆すべき動きがみられる。これらが結実すると、入場者数の着実な増加は大いに期待できる。

まず、柱谷監督が「地域密着」を強く打ち出していることだ。昨年12月12日の監督就任会見では、「地域の皆さんと一緒に活動することで観客動員数をできるだけ増やしていきたい」と明言した上で、「毎週火曜日に選手たちが市内の小学校をできるだけ多く回りたい」、「地元の商店街にも出て行き、イベントにもどんどん参加したい」、「企業や行政とも色々な活動をご一緒させていただき、地域を活性化する役割を担っていきたい」^(註2)と具体的な考えを述べた。これまでのギラヴァンツの歴代監督は「試合に出場している選手による日常的な地域貢献活動」へ消極的だったが、それを改善する姿勢だ。活躍している選手に身近に接することができる機会が増えると、市民のギラヴァンツへの親しみや関心は大幅に上向くことが考えられる。

それから最も特筆すべきは、ギラヴァンツを応援するサポーターの方々が自主的・組織的に集客活動に取り組み始めたことだ。「本城陸上競技場1万人満員を目指すギラヴァンツ北九州ゴール裏サポーター有志の会(略称:本満会)」を組織し、ギラヴァンツのホームゲームを市民に広く告知するため、チラシの戸別配布やポスター掲示活動などを毎日のように市内各所で行っている。こうした取り組みは、ギラヴァンツにとって大きなプラスになるとともに、地域社会の活性化、市民参加型社会の実践にも結びつく注目すべき市民活動といえよう。

この他、市内10大学が連携して3月に魚町商店街に開設した「北九州まなびとESDステーション」において学生が集客促進活動を展開する予定だ。集客の危機をバネにして、ギラヴァンツと多様な市民が一体となって地域を盛り上げていく事につながれば、素晴らしいことだ。

表1 2013年6～9月のギラヴァンツ北九州の試合（北九州市内での開催分を抜粋）

日にち	曜日	開始時間	ギラヴァンツ北九州の対戦相手	会場
6月8日	(土)	18時	ガンバ大阪	北九州市立本城陸上競技場 (北九州市八幡西区御開4-16-1) 【試合当日のアクセス】 ○シャトルバス（片道250円） ・黒崎駅バスセンター5番乗場から ・折尾駅北口バス乗場から ○自家用車の場合 ・本城陸上競技場第2駐車場 ・若松競艇場（臨時駐車場・第7駐車場）が無料臨時駐車場。試合会場まで無料送迎バスを運行
6月15日	(土)	18時	ロアッソ熊本	
7月3日	(水)	19時	V・ファーレン長崎	
7月7日	(日)	18時	徳島ヴォルティス	
7月20日	(土)	19時	京都サンガ F.C.	
7月27日	(土)	19時	松本山雅 FC	
8月11日	(日)	19時	ジェフユナイテッド市原・千葉	
8月21日	(水)	19時	FC 岐阜	
9月1日	(日)	18時	ヴィッセル神戸	
9月22日	(日)	未定	ファジアーノ岡山	

（出所）ギラヴァンツ北九州 Web サイトをもとに作成

読者の皆様にも是非、ギラヴァンツの試合（表1）を本城で観戦していただければと思う。

■前号（《特別編》「B-1 グランプリ in 北九州」は何をもたらしたか）の補足

本連載の前号（2013年3月号）では、B-1 グランプリ in 北九州の来場者アンケート結果を紹介した。その掲載には間に合わなかったが、筆者はB-1 グランプリ開催にともなう北九州市内への経済波及効果を推計し、大会実行委員会を通じて2013年2月26日に公表した。その概要について、前号の補足として報告させていただく。詳細は南（2013）において記している。

（1）推計の概要

推計対象とした経済活動は表2のとおりである。来場者アンケートや各種統計データ、財務データ等をもとに算出した「北九州市内での直接効果額」を、「北九州市産業連関表（平成17年表，34部門）」に投入して求める手法を用いた。

表2 推計対象とした経済活動

推計に含む経済活動	1)「B-1 グランプリ in 北九州」開催にともなう、 <u>北九州市内</u> での直接的な経済活動(直接効果) ① 来場者による、北九州市内での消費活動 ② 主催者・出展団体による、北九州市内での調達活動等 2)直接効果に伴う北九州市内での間接効果(波及効果) ・一般的な例を踏まえ、二次波及効果まで推計
推計に含まない経済活動	・開催にともなう広告効果 ・北九州のご当地グルメを食べる事を目的として、「B-1 グランプリ in 北九州」開催時期以外に北九州を訪れた人の飲食・観光行為等による経済効果 ・その他、「B-1 グランプリ in 北九州」開催にともなう <u>北九州市外</u> における経済効果

（出所）南（2013）

（2）北九州市内での直接効果額の推計

北九州市内での直接効果額のうち、来場者アンケートの結果を用いる事が可能な項目はアンケートから求めた平均消費額に来場者数（宿泊の有無別）を乗じて算出した。主催者から提供

表3 B-1 グランプリ in 北九州開催にともなう北九州市内への直接効果額の推計結果(単位:百万円)

項目	金額	内訳		
		日帰り客等	市外宿泊客	市内宿泊客
来場者による, 北九州市内での消費活動	1,478.6	-	-	-
会場内での飲食・土産購入費のうち, 北九州市内での経済効果試算対象となる費用	43.5	-	-	-
会場外での飲食費	520.9	376.77	24.40	119.72
会場外での土産購入費	137.9	103.97	12.40	21.48
会場外での観光施設入場料等	85.4	42.48	14.68	28.21
市内支出の交通費	548.9	280.62	98.48	169.82
宿泊費	142.1	0.00	0.00	142.05
主催者・出展団体による, 北九州市内での調達活動等	181.6			
主催者調達費(印刷, 会場設営など)	118.9			
出展団体調達費(食材, 機材等)	12.9			
出展団体滞在費用(宿泊費, 飲食費)	49.8			
北九州市への直接効果額合計	1,660.2			

を受けることが可能なデータ(集計処理した財務データ, 出展団体の来場人数に関するデータ等)は, それを用いた。なお, B-1 グランプリ会場内での飲食・土産購入費については, 北九州市内への経済波及効果算出に用いることが妥当と考えられる金額のみに処理して計上した。その結果, B-1 グランプリ in 北九州開催にともなう北九州市内への直接効果額の合計金額を約16.6億円と推計した(表3)。

(3) 北九州市内での経済波及効果額の推計

直接効果額約16.6億円を費目別に産業分類し, 「北九州市産業連関表(平成17年表, 34部門)」に投入して計算した結果, B-1 グランプリ in 北九州開催にともなう北九州市内への経済波及効果額の推計結果は, 約26.5億円となった。このうち一次波及効果は約6.5億円, 二次波及効果は約3.4億円となる。

B-1 グランプリ in 北九州の事業規模は約3億円(うち約2億円分の収入はイベントチケット販売額)であることを勘案すると, B-1 グランプリ in 北九州の開催は地域経済の活性化に大きな成果があったと評価できよう。

注

(注1) ギラヴァンツ北九州 Web サイト「インフォメーション」ページより抜粋。

(注2) J リーグ公認ファンサイト「J's GOAL」2012年12月12日付け記事 (<http://www.jsgoal.jp/news/jsgoal/00147956.html>) から要約。

参考文献

南博(2013)「B-1 グランプリ in 北九州への来場者の評価および開催に伴う経済波及効果に関する研究」, 北九州市立大学『都市政策研究所紀要』Vol.7, pp. 75～98